

— 新郷連区自治会 —
< 地区防災計画 >

安全で安心な、まちづくりを目指して
防災・減災の対応を地域全体で推進する

新郷連区自治会

令和3年1月作成

新郷連区自治会地区防災計画の課題

1 防災関連資料

●防災台帳

現在、5町内で保管されているが、1町内にて、個人情報上の理由にて、廃棄されている。廃棄後、作成に手掛けているが、困難の状況である。台帳の項目を最小限にして新郷連区の全町内にて改めて作成する。

●防災マップ

新郷連区全地域の組集合場所、避難所等までの誘導道路などを記載したものが作成されているが、地図使用の許可が必要とのことで申請を予定している。防災マップは作られているが、マップの意義、使用方法などを啓蒙するための説明会の開催が必要となる。

●安否確認カード

防災訓練では、組集合場所に集合する住民もいまだ少なく、自助・共助の意義などを繰り返し、啓蒙していかなければならない。

安否確認カードについては、1年も過ぎると紛失する家も多く、3年に1回程度補充する必要があると考える

2 防災訓練

瀬戸市防災訓練と連区防災訓練を、今後どう両立させていくかが課題。

3 要介護者支援

現在、組内にて支援としているが、具体的にはまだ十分に浸透されておらず、防災台帳を参照して明確にしていかなければならない。

また、お助け隊票の復活と見直しが必要と考える。

4 緊急避難場所、避難所の開設

避難所には機材の一部は届いており、使用方法等は研修したが、震災が起きた時に、自治会として、どう対処してよいのか明確化されていない。また、瀬戸市役所との役割分担などが明確になっていない。今後の課題とする。

《 新郷地域力推進協議会(防火防災グループ)と協力して進める。 》

新郷連区防災計画

1 計画の対象地域

- ☆ 幡野町 ☆ 赤重町(赤重町・東赤重町)
- ☆ 新郷町 ☆ 白山町
- ☆ 緑町 ☆ 瀬戸口住宅自治会(東赤重町・白山町)

2 基本方針

新郷連区の安全で安心なまちづくりを目指して、防災・減災の対応策を計画立案し、その活動を推し進める。また、地域における自助・共助の防災対策を実施するために、防災マップ、防災台帳等を整備し、地域住民間の相互の助け合い精神を向上させる目的にてコミュニケーション活動を推進する。

3 地域特性

- 新郷連区は瀬戸市の中心部より南西に位置する、ほぼ住宅地であり、当連区全体の人口は現在、6,355 人である。平成 12 年と比較すると 7.7%減少し連区全域において減少傾向にある一方、世帯数は 2,786 世帯と増加傾向にある。しかし 65 歳以上の人口比率は 30.6%と高くなっている。
木造建物も新耐震基準以前の割合が新郷町、幡野町に集中して高く老朽化している。

① 水害・土砂災害

当連区では浸水想定区域には設定されておらず、近年、大規模な水害は発生していないが、急傾斜地崩壊危険箇所が数箇所指定されており、注視する必要がある。

○風水害時の避難所及び緊急避難所

当連区内の風水害時の避難所としては地域交流センターが指定されている。近くには避難所・緊急避難場所として陶原公民館、長根公民館、幡山公民館、八幡公民館等があるが、遠方であり、早めの避難を促すなど、避難体制を整える必要がある。

② 地震災害

当連区北部に耐震性の低い建物が倒壊する割合が高い地域が点在する。

連区のほぼ全域にて、耐震性の低い建物が倒壊する危険性があり、赤重町、新郷町幡野町では、耐震性の低い建物が倒壊する割合がやや高い箇所が点在する。

○地震時の避難所及び緊急避難場所

連区の緊急避難場所として県立西高等学校が指定されているが、避難所に指定されているところはない。避難所として近隣には原山小学校、陶原小学校、長根小学校がある。

※地域特性は、瀬戸市ホームページの危機管理課・災害ハザードマップ新郷地域分を引用

4 災害対応

(1) 安否確認・災害情報

- ① 震災発生時には、各町内の組単位で組長を中心に組内、町内安否確認を行う
- ② 安否確認カードの各戸の確認をし、3年に1回追加補充を行う。〈資料添付〉
- ③ 災害情報伝達票の作成と整理 〈資料添付〉
- ④ 各町内、各組内において、災害時での自助・共助の意思疎通を図るために、町内会、自治会の行事活動を日頃より行い、コミュニケーション強化を図る

(2) 要介護者支援

- ① 災害時には組単位で役割を決め対応する。
- ② 住民防災台帳の改訂、充実を図る。3年に1回は修正を行う〈資料添付〉
- ③ 町内会長会議、各町内会議、防災会議(防災リーダー、防災委員、地域力防災委員)等にて防災台帳、要介護者等への考え方の意思統一を図る。
また、お助け隊の復活と見直しを行い対処する。

(3) 避難

- ① 災害発生時には、防災ファイル(新郷自治会震災時避難計画)「新郷連区防災マップ」「安否カード」に従い行動する 〈資料添付〉
- ② 要介護者支援(組・町内会)・防災台帳を基に、組内にてお助け隊活用。
- ③ 震度5弱以上での安否確認カードの使用
- ④ 組集合場所へ集合し、災害情報伝達票を作成し、避難所、避難場所へ向かう。
- ⑤ 新郷連区防災ファイルの確認と見直し
〈防災ファイル〉
 - ・絵でわかる新郷連区自治会震災時避難計画
 - ・新郷連区町内別防災マップ
 - ・安否確認カード
 - ・新郷連区防災対応関連連絡網 etc
- ⑥ 防災マップ(組内・町内の一時集合場所)の確認。3年に1回見直しを行う。
- ⑦ 新郷連区防災ファイルの補充と見直し。
- ⑧ 避難は組長⇔町内会⇔自治会長(役員)⇔情報交換にて進める。
- ⑨ 避難所・避難場所の確認。
 - ・風水害の避難所……新郷地域交流センター さとの家
〈瀬戸市東赤重町1-100 (TEL)0561-82-3300〉
 - ・地震災害の避難場所…県立瀬戸西高等学校
〈瀬戸市緑町1-140 (TEL)0561-84-7400〉
- ⑩ 災害時での避難説明について
自治会、町内会において、震災時避難計画の説明会を地区防災訓練の前に開催。

⑪ 連絡事項

- ・瀬戸市、消防署等の公的機関への応援要請
- ・瀬戸市防災行政無線の活用(新郷地域交流センター事務所内に設置されている)
- ・新郷連区防災対応連絡網(町内会長・防災リーダー・防火防災委員・地域力防災グループ委員・自治会役員・地域力推進協議会役員 etc)の作成と活用

⑫ 避難所の開設

- ・役割分担を決める
- ・新郷連区防災対応委員の防災研修会の開催
- ・備蓄機材:新郷地域交流センター倉庫に保管

5 地域住民の防災意識向上

(1)新郷連区独自の防災訓練の開催

- ・瀬戸市防災訓練と連区独自の防災訓練を開催する
- ・新郷地域力推進協議会と共催で開催
- ・訓練内容⇒初期消火訓練・AED操作、応急手当訓練・担架搬送・煙道体験など

(2)地域住民を対象に町内会及び自治会単位での災害時対応説明会を開催

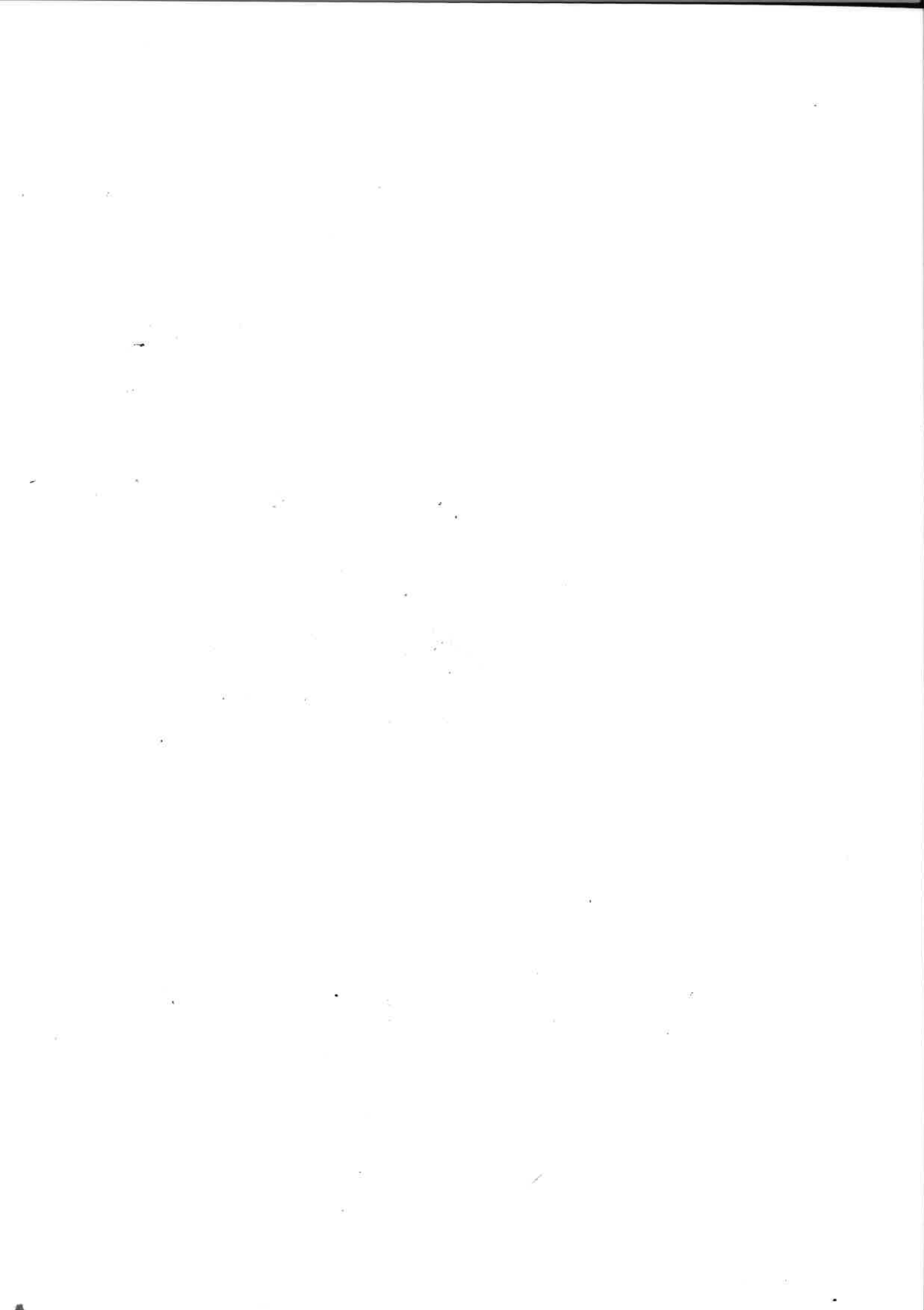
(3)地域住民対象の防災講演会開催を計画

6 防災対策の向上

新郷連区の安全で安心なまちづくりを目指して、防災・減災の対応策向上の為に新郷地域力推進協議会と協力して、各町内会議、自治会町内会長会議、地域力推進協議会全体会等を、通じて防災強化を啓蒙していく。また地域における自助・共助の防災対策を実施するために、防災マップ、防災台帳等を整備し、地域住民間の相互の助け合い精神を向上させる目的にてコミュニケーション活動を推進していく。

7. 添付資料

- 安否確認カード
- 災害情報伝達票
- 住民防災台帳
- 防災マップ
- 新郷連区自治会震災時避難計画
- 新郷連区防災ファイル
- 新郷連区防災対応関連連絡網



新郷連区防災ファイル

➤自己防衛 <自分の身は自分で守る>

家具の転倒防止・木造住宅耐震化(S56.以前着工)
水(2ℓ/日/人)、非常食備蓄、常備薬のストック。

➤家族の安否確認表示

震災時、「災害時安否確認カード」を門扉、玄関口等
外から確認しやすい場所に掲げて下さい。

このファイルは玄関付近に常時保管し、各種の防災
情報を挟んで下さい。

新郷連区自治会・新郷地域力推進協議会

絵でわかる 新郷連区自治会震災時避難計画

新郷連区自治会 2019.8.17 作成

大地震発生

(震度5弱以上…家の内外で立ってられない)



自分の身を守る行動をとる

(シェイクアウト…姿勢を低く、頭を守る、動かない)



組集合場所へ集合

・災害情報伝達票の作成
(組長、その補助者)



要介護者支援 (お助け隊)



救難 (近隣の共助)

家庭内での確認

- ・電気ブレーカ
- ・ガス元栓 OFF
- ・家族の安否確認
- ・出口の確保 ・非常持出袋
- ・各家庭の「安否確認札」取付
- ・避難情報はラジオサンキュー (コミュニティFM放送 84.5Mz)



一時集合場所への移動

(各組伝令)

(被害情報伝達・救援要請)



町内会への報告

- ・災害情報伝達票の受取り及び集計
- ・災害情報伝達集計表の作成
- ・救援人員派遣の手配
- ・自治会との打ち合わせ 救援要請

新郷自治会への報告

- ☎0561 (85) 2858
- ・災害情報伝達集計表の受取り
 - ・救援人員派遣の手配



緊急避難場所への移動

(新郷地区は、まず瀬戸西高校グラウンドへ)
※自宅、組地域に危険を感じる人全員
・緊急避難所の開設



連絡・打ち合わせ

瀬戸市・警察署・消防署との打ち合わせ・要請

災害時安否確認カード

応援をお願いします!

**救助
求む**

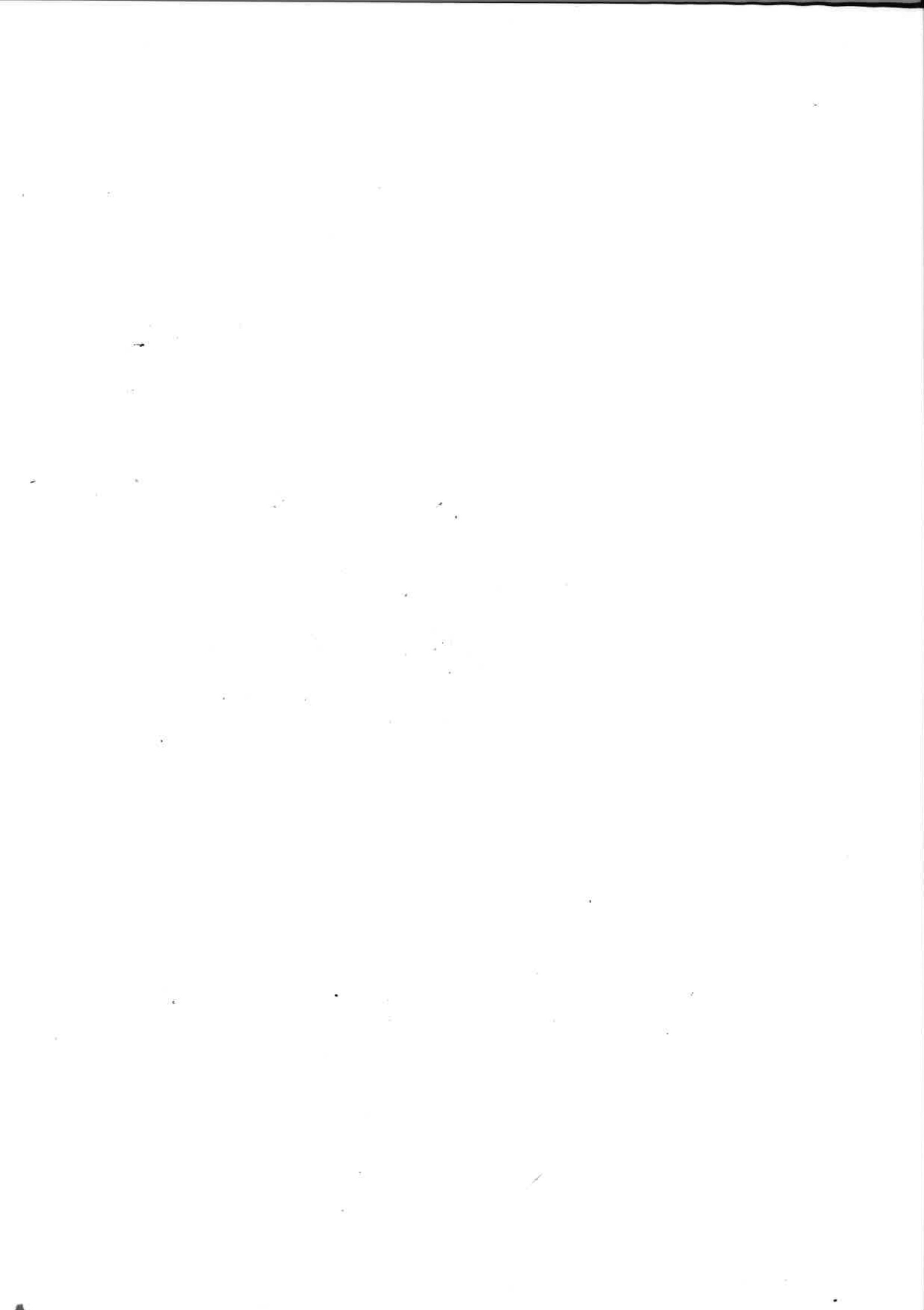
SOS

新郷連区自治会
新郷地域力推進協議会

災害時安否確認カード

**全員
無事
です**

新郷連区自治会
新郷地域力推進協議会



災害情報伝達票

町内会

組

新郷連区自治会

組内世帯数	世帯	組内人数	人
-------	----	------	---

被害項目	状況	数量	単位	詳細・備考
倒壊家屋	全壊		棟	
	半壊		棟	
	合計	0	棟	
無事確認世帯	「無事」表示シート確認		世帯	
	声掛けでの「無事」確認		世帯	
	合計	0	世帯	
所在不明世帯	「無事」シート及び声掛け連絡での未確認		件	
応援を要する救助活動	有		件	
	無			
組集合場所参集者			名	
一時集合場所参集者			名	
緊急避難場所（瀬戸西高校グラウンド）参集者			名	
報告者		携帯☎番号		- -
記入日時	. .	記入時間	AM・PM	:

- ※ この伝達票は、組長又はその代行者が組集合場所で記入してください。
- ※ 緊急時のため記入項目は最小限でも構いませんが、変化があった場合続報で伝達願います。
- ※ 組内の伝令係を決め、この伝達表にて一時集合場所の町内会長又はその代行者へ詳細を報告してください。（町内に一時集合場所が2ヶ所以上ある場合は、予め災害時に町内会長（又は代行者）が居る場所を決めておき、そこに伝達すること。）
- ※ 町内会長（その代行者）は応援を要する救難活動があれば、町内の参集者を編成して救助に向かわせてください。
- ※ 町内会長（その代行者）は新郷連区自治会への連絡と、状況に応じて応援要請をしてください。（新郷連区自治会事務所 ☎0561（85）2858）
- ※ 全組の情報が集まり次第、この伝達票を持って自宅・町域に留まることに危険を感じている人全員を引率し、徒歩で緊急避難場所に向かってください。

災害情報伝集計表

【

町内会

(新郷連区自治会)

作成
No.

被害項目	状況	数量(組別)													計	単位	詳細・備考						
組内世帯数	全壊 半壊 計																						
倒壊家屋	計																						
無事確認 世帯	「無事」表示シート確認 声掛けでの「無事」確認 合計																						
所在不明 世帯	「無事」シート及び声掛け連絡での未確認 合計																						
応援を要する救助活動	有 無																						
組集合場所 参加者	一時集合場所参加者																						
緊急避難場所 (神戸西宮救急センター) 参加者	報告者																						
記入日時		記入時間	AM・PM	:																			

- ※ この情報伝集計表は、町内各組から提出された伝達票を元に受け取った都度記入してください。
- ※ 緊急時のため記入項目は最小限でも構いませんが、変化があった場合伝達で伝達の変更を各組に願います。
- ※ 町内会長 (その代行者) は応援を要する救助活動があれば、町内の参加者を編成して救助に向かわせてください。
- ※ 町内会長 (その代行者) は新郷連区自治会への連絡と、状況に応じて応援要請をしてください。(新郷連区自治会事務所 ☎0561 (85) 2858)
- ※ 全組の情報が集まり次第、この伝達票を持って自宅・町域に留まることに危険を感じている人全員を引率し、徒歩で緊急避難場所に向かわせてください。

新郷連区 住民防災台帳

整理
番号

所属	町内会	-	組	令和	年	月	日
----	-----	---	---	----	---	---	---

現住所	瀬戸市 町 丁目 番地	固定☎	
		携帯☎	
		緊急時連絡の☎	

緊急連絡先（別居親族）		
氏名 ①		☎
氏名 ①		☎

世帯主同意書
私はこの住民防災台帳の作成（変更）に同意し、欄内の個人情報
を提供します。
同位年月日 令和 年 月 日
氏名（サイン）

同居家族の氏名		生年	満年齢	災害時の避難支援									
				支援の要・不要		支援区分等							
世帯主	ふりがな	男・女	明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
1	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
2	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
3	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
4	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
5	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
6	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
7	ふりがな		明・大・昭・平・令・西暦		要	不要	①	②	③	④	⑤		
			年				()	
集計欄	男 総数 (人)		0~6歳未満 (人)		要 (人)		区別人数	①	②	③	④	⑤	計
	女 総数 (人)		6~80歳未満 (人)		不要 (人)								
	計 (人)		80歳以上 (人)		計 (人)								

台帳確認・変更日	令和	年	月	日	変更(無・あり)	令和	年	月	日	変更(無・あり)
	令和	年	月	日	変更(無・あり)	令和	年	月	日	変更(無・あり)
	令和	年	月	日	変更(無・あり)	令和	年	月	日	変更(無・あり)

〈記入にあたってのお願い〉

- 1 この「住民防災台帳」は地震や風水害などの災害時に役立てる目的で作成します。目的外の使用は致しません。
- 2 この台帳は、原本を町内会長が管理し、その内の一部の転記データを自治会が管理します。（毎年4月に更新確認します。）
- 3 「携帯☎」及び「緊急時連絡の☎」は同居家族の代表となる方の電話番号をお書きください。
- 4 「緊急連絡先」欄は早急に連絡のつきやすい別居親族の連絡先を記入してください。
- 5 「災害時の避難支援」欄は、その要・不要と支援区分番号に○をつけてください。（ ）内はその詳細をお書きください。
 ①自力で避難できない方（寝たきり、要介護、高齢等） ②特別な医療が必要な方（人工透析、酸素吸入等）
 ③3歳未満のお子様 ④日本語のわからない方 ⑥その他
- 6 太枠線で囲われた内側をご記入ください。尚、✓マークは管理者が集計のため記入いたします。

絵でわかる 新郷連区自治会震災時避難計画

新郷連区自治会 2019. 8. 17作成

大地震発生

(震度5弱以上…家の内外で立ってられない)

自分の身を守る行動をとる

(シェイクアウト…姿勢を低く、
頭を守る、動かない)



しがむ かくれる

まつ



家庭内での確認

- ・ 電気ブレーカ ・ ガス元栓OFF
- ・ 家族の安否確認
- ・ 出口の確保 ・ 非常持出袋
- ・ 各家庭の安全確認シート取付
- ・ 避難情報はラジオサンキュー
(コミュニティFM放送84.5MHz)



組集合場所へ集合

災害情報伝達票の作成
(組長、その補助者)



要介護者支援 (お助け隊)



救難 (近隣の共助)



(各組伝令)

(被害情報伝達 ・ 救援要請)

町内会への報告

- ・ 災害情報伝達票の受取り
及び集計
- ・ 災害情報伝達集計表の作成
- ・ 救援人員派遣の手配
- ・ 自治会との打ち合せ
救援要請

一時集合場所への移動



新郷自治会への報告

☎0561 (85) 2858

- ・ 災害情報伝達集計表の受取り
- ・ 救援人員派遣の手配

連絡・打ち合わせ



緊急避難場所への移動

(新郷地区は、まず瀬戸西高校グラウンドへ)

※自宅、組地域に危険を感じる人全員

- ・ 緊急避難所の開設

瀬戸市・警察署・消防署との打ち合わせ・要請

令和3年度《防災対応関連緊急連絡網》

